



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東葛ホールディングス

コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 高橋 輝 TEL 047-346-1190

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	5,627	0.5	284	△15.6	298	△13.4	188	△12.5
2018年3月期第3四半期	5,600	8.9	337	17.8	344	17.2	215	16.0

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 188百万円 (△12.5%) 2018年3月期第3四半期 215百万円 (16.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	38.95	37.75
2018年3月期第3四半期	44.51	43.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	6,261	4,152	65.8
2018年3月期	6,475	4,007	61.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 4,120百万円 2018年3月期 3,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
2019年3月期	ー	0.00	ー		
2019年3月期 (予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,780	0.2	465	2.5	468	0.8	298	△2.0	61.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

除外 1社 (社名) 株式会社ティーエスシー

(注) 詳細は添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	4,840,000株	2018年3月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,701株	2018年3月期	1,701株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	4,838,299株	2018年3月期3Q	4,838,299株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年12月31日）におけるわが国の経済環境は、企業収益の改善の動きは横ばいの状況であるものの、雇用環境等は改善の動きを続けており、個人消費についても持ち直しの動きが見られる等、全体では緩やかに回復しつつある状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、登録車（普通自動車）、届出車（軽自動車）ともに、モデルチェンジ等の効果が持続している車種の販売が堅調に推移したことから、当第3四半期連結累計期間の国内新車販売台数は3,731,374台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比2.1%増）となりました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

新車販売につきましては、前期にモデルチェンジを受けた車種の販売は堅調に推移しましたが、その他の車種の販売が伸び悩み、販売台数は1,660台（前年同四半期比0.9%増）となりました。登録受取手数料等の手数料収入及び整備業務を行うサービス売上は前年同四半期に比べて減少しました。売上高は47億13百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車販売からの下取車、オークション等からの外部仕入により販売車両の確保に努めましたが、販売台数は1,342台（前年同四半期比3.7%減。内訳：小売台数564台（前年同四半期比8.6%減）、卸売台数778台（前年同四半期比増減なし））となりました。また、サービス売上は増加しましたが、登録受取手数料等の手数料収入が減少したこと等から売上高は8億34百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業において、商品構成の変化などにより保険取扱手数料が増加したこと等から売上高は79百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は56億27百万円（前年同四半期比0.5%増）となり、営業利益は2億84百万円（前年同四半期比15.6%減）、経常利益は2億98百万円（前年同四半期比13.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億88百万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

これは、売上高については微増となりましたが、自動車販売関連事業において、一般管理費が前年同四半期に比べて増加したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は32億29百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億80百万円減少いたしました。これは商品及び製品が1億61百万円増加、現金及び預金が1億29百万円、受取手形及び売掛金が1億98百万円、その他の流動資産が13百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は30億32百万円となり、前連結会計年度末に比べて33百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が23百万円、投資その他の資産が9百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、総資産は62億61百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億14百万円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は18億90百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億56百万円減少いたしました。これは主に買掛金が96百万円、短期借入金が1億34百万円、賞与引当金が27百万円、未払法人税等が60百万円、その他の流動負債が29百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は2億18百万円となり、前連結会計年度末に比べて2百万円減少いたしました。これはその他の固定負債が26百万円増加、長期借入金が29百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は21億8百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億59百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は41億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億45百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1億88百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は65.8%（前連結会計年度末は61.5%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億29百万円減少し、当四半期連結会計期間末には15億36百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は1億12百万円（前年同四半期は77百万円の使用）となりました。これは税金等調整前四半期純利益2億95百万円から主に減価償却費93百万円、売上債権の減少額2億57百万円、その他の資産の減少額15百万円、賞与引当金の減少額27百万円、たな卸資産の増加額2億11百万円、仕入債務の減少額96百万円、その他の負債の減少額53百万円及び法人税等の支払額1億66百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は21百万円（前年同四半期は1億17百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出29百万円、貸付金の回収による収入8百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は2億20百万円（前年同四半期は1億63百万円の使用）となりました。これは借入金の返済による支出1億72百万円及び配当金の支払額48百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,665,513	1,536,244
受取手形及び売掛金	1,259,755	1,061,187
商品及び製品	382,250	543,338
その他	102,402	88,718
流動資産合計	3,409,921	3,229,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	491,305	476,618
機械装置及び運搬具(純額)	220,641	213,057
土地	2,109,461	2,109,461
その他(純額)	7,072	5,576
有形固定資産合計	2,828,480	2,804,713
無形固定資産	941	632
投資その他の資産	236,370	226,697
固定資産合計	3,065,792	3,032,043
資産合計	6,475,714	6,261,532
負債の部		
流動負債		
買掛金	526,116	430,106
短期借入金	1,184,003	1,049,175
1年内返済予定の長期借入金	50,004	41,646
未払法人税等	80,169	19,606
賞与引当金	48,134	20,394
その他	358,742	329,366
流動負債合計	2,247,169	1,890,296
固定負債		
長期借入金	29,145	—
その他	191,691	218,266
固定負債合計	220,836	218,266
負債合計	2,468,006	2,108,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,569,379	3,709,454
自己株式	△673	△673
株主資本合計	3,980,287	4,120,363
新株予約権	27,420	32,606
純資産合計	4,007,707	4,152,969
負債純資産合計	6,475,714	6,261,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	5,600,427	5,627,584
売上原価	4,326,980	4,370,304
売上総利益	1,273,447	1,257,279
販売費及び一般管理費	936,116	972,648
営業利益	337,331	284,630
営業外収益		
受取利息	922	806
受取手数料	9,472	12,881
その他	2,761	4,918
営業外収益合計	13,156	18,606
営業外費用		
支払利息	5,774	5,070
その他	342	100
営業外費用合計	6,116	5,171
経常利益	344,371	298,065
特別損失		
固定資産処分損	584	2,583
特別損失合計	584	2,583
税金等調整前四半期純利益	343,786	295,482
法人税等	128,404	107,023
四半期純利益	215,382	188,458
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,382	188,458

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	215,382	188,458
四半期包括利益	215,382	188,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,382	188,458
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	343,786	295,482
減価償却費	88,910	93,343
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29,114	△27,739
株式報酬費用	4,890	5,186
受取利息及び受取配当金	△922	△806
支払利息	5,774	5,070
固定資産処分損益 (△は益)	584	2,583
売上債権の増減額 (△は増加)	99,428	257,655
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△360,899	△211,891
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,852	△96,009
その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,658	15,092
その他の負債の増減額 (△は減少)	△41,524	△53,865
小計	83,403	284,102
利息及び配当金の受取額	18	29
利息の支払額	△5,812	△5,131
法人税等の支払額	△155,027	△166,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	△77,418	112,989
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△123,937	△29,516
無形固定資産の取得による支出	△193	—
貸付金の回収による収入	8,046	8,046
差入保証金の差入による支出	△1,317	△486
差入保証金の回収による収入	355	413
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,046	△21,543
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△78,004	△134,828
長期借入金の返済による支出	△37,503	△37,503
配当金の支払額	△48,382	△48,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163,890	△220,714
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△358,355	△129,268
現金及び現金同等物の期首残高	1,640,144	1,665,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,281,789	1,536,244

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社ホンダカーズ東葛と株式会社ティーエスシーが合併し、株式会社ティーエスシーは解散いたしましたので、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,626,859	897,311	5,524,170	76,257	5,600,427
セグメント間の内部売上高 又は振替高	256,401	96	256,497	134,037	390,535
計	4,883,260	897,407	5,780,668	210,295	5,990,963
セグメント利益	346,749	100,787	447,537	17,550	465,088

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	447,537
「その他」の区分の利益	17,550
セグメント間取引消去	△1,821
全社費用(注)	△125,935
四半期連結損益計算書の営業利益	337,331

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,713,113	834,868	5,547,982	79,601	5,627,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	—	79	133,997	134,077
計	4,713,193	834,868	5,548,061	213,599	5,761,661
セグメント利益	305,840	81,500	387,341	26,095	413,437

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業
関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	387,341
「その他」の区分の利益	26,095
セグメント間取引消去	3,181
全社費用（注）	△131,989
四半期連結損益計算書の営業利益	284,630

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。